| 学校番号 | 205 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭科 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍　家基 701） | | | | | | |
| 副教材等 | 家庭科５５デジタル＋（教育図書） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、教科書、資料集、プリントを使用します。その他実習に伴い準備物が必要な時もありますから、忘れずに持ってきてください。
・授業で学んだことについて、自身の生活に活かせるように、受け身ではなく知的好奇心を持って授業を受けましょう。
・授業は２時間連続です。特に実習の欠席は、実習点に加えてその後のレポート提出にも影響しますから体調を整えて授業に参加するようにしましょう。
・長期休暇中の課題は学んだことを深める機会です。テーマに沿って主体的に取り組んでください。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力】生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を育成する。
【学びに向かう力。人間性等】より良い社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を育成する。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 生涯を見通す | ・自分史作成<br>・他己紹介<br>・ライフステージの特徴 | a: 生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。<br>b: 生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し，歩みたい人生の目標を描くことができる。<br>c:自分の考えを友達と共有し、これからの課題に気づき、自己評価ができる。 | プリント<br>定期考査 | 自分史作成<br>ワークシート | Gワーク |
| | 人生を作る | ・家族・家庭の機能<br>・家族・家庭に関する法律<br>・仕事と家庭の両立 | a: 社会制度としての家族や家族と法律を理解する。<br>b: よりよい家庭生活を実現するために，家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。<br>c:仕事と家庭の両立は、どのような社会を実現すればよいか，考えて実践しようとする。 | プリント<br>定期考査 | ワークシート | Gワーク |
| | 子どもと共に育つ | ・子どもの発育・発達<br>・子どもの生活習慣<br>・子ども・子育てに関する理解<br>・社会での子育て支援 | a: 子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。子どもの生活習慣や衣食住について理解する。子どもとの触れ合いや，親や保育者と子どもの関わり方の観察など，さまざまな体験をする。現代の子育て環境の変化や課題について理解する。<br>b: 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考える。<br>c:子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，自分の考えを共有し、実践しようとする。 | プリント<br>妊婦体験<br>新生児抱っこ<br>定期考査 | 名づけ実習<br>ワークシート | Gワーク<br>レポート |
| | 超高 | ・超高齢社会の背景<br>・加齢に伴う心身の変化 | a:超高齢社会の背景を理解する。加齢に伴う心身の変化について | プリント<br>定期考査 | 車椅子実習<br>ワークシート | レポート<br>Gワーク |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 齢社会を共に生きる | ・車椅子実習<br>・高齢期を支える社会制度<br>・多様な人との関わり方 | 理解する。私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を習得する。<br>b：高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か，考える。高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。<br>c・超高齢社会の課題を踏まえて，自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに，地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え，行動しようとする。 | | | |
| | 食生活をつくる | ・食生活の課題、食事の意義<br>・食事と栄養<br>・食生活の選択と安全<br>・食事計画<br>・調理の基礎<br>・調理実習 | a：食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深める。栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深める。食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。配膳やマナーを理解する。<br>b：自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために，安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し，広い視野で食生活について考える。<br>c:学んだことを友達と共有し、自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために，安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し，広い視野で食生活について考え実践しようとしている。 | プリント<br>調理実習<br>定期考査 | 糖度実験<br>食品カルタ<br>ワークシート | ジグゾー学習<br>レポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 住生活をつくる | ・住居の機能<br>・安全で快適な住生活<br>・住生活の文化と知恵<br>・住空間計画 | a: 生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。防災，日照，換気などに関する環境性能について理解を深め，快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。気候や風土の違い，時代の変化によって，大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。<br>b: 快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件について考える。<br>c:学んだことを活かし、 快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の空間を計画する。 | プリント<br>住空間計画 | プリント | 相互評価<br>レポート |
| 3学期 | 衣生活をつくる | ・被服を管理する | a: 手持ちの被服・小物を長期にわたり使用することができるよう，修繕・管理や手入れの方法を身に付ける。<br>b: 手持ちの被服・小物を長期にわたり使用するために、修繕・管理を工夫する。<br>c: 実習で学んだことを、手持ちの被服・小物を長期にわたり使用するために、修繕・管理に活かそうとしている。 | プリント<br>タブレットケース製作 | 実習記録 | 相互評価<br>レポート |
| | 経済生活を営む | ・契約についての理解<br>・多様な販売方法<br>・多様な支払方法<br>・消費者保護制度<br>・家計マネジメント | a: 生活におけるさまざまな契約の重要性について理解する。多様な販売方法・支払い方法の特徴を理解する。消費者問題を予防し、適切に対応できるよう，消費者保護制度について理解する。<br>b: 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて，どうすれば消費者市民社会が実現できるか考える。<br>c: 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて，どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。 | プリント<br>定期考査 | ワークシート | レポート<br>出前授業 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度